

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 愛称・スローガンの制定について

1. 趣旨

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会における広報活動の一つとして、開催基本方針を基本とした広報基本方針および広報基本計画に基づき、両大会を象徴し、広く県民に愛されるような愛称とスローガンを制定する。

2. 愛称・スローガン制定の進め方

(1) 募集方法等

一般公募とし、チラシやポスター、インターネットをはじめとする、各種メディアを活用して県内外から広く募集する。

(2) 略称の表記

今年6月の「スポーツ基本法」の改正により、2023年1月から「国民体育大会」の名称が「国民スポーツ大会」に変更され、略称についても「国体」が「国スポ」に変更されることが決定。これに伴い、バランスを考慮し、本県では「全国障害者スポーツ大会」の略称を「障スポ」とする方向で検討。(※全国障がい者スポーツ協会において、「全国障害者スポーツ大会」の略称は決定されていない。)

【全国障害者スポーツ大会専門委員会 (7/13)、広報・県民運動専門委員会 (7/17)での各委員から意見】

「全スポ」

・これまで「全スポ」と呼んでいたのに、変更する必要があるのか。

「障スポ」

・過去に開催されていた身体障害者スポーツ大会の時には「身スポ」と呼んでいた。その流れを汲んでいくと、「障スポ」はごく自然なことである。

・「障」という文字が前面に出ることに少し抵抗を感じるということも、実際に障害のある方から伺ったことがある

・パラリンピックには身体障害者の大会のイメージがある。全国障害者スポーツ大会には知的障害者・発達障害のある選手が出場する種目もあるので、「障スポ」がしっくりくる。

「パラスポ」

・パラマウント・チャレンジの「パラスポ」はどうか。

・全国障害者スポーツ大会に出場した選手がパラリンピックに繋がるように、「パラ」という言葉が入るのは良い。

・パラリンピックにろう者は参加しないため、ろう者が参加できないイメージがある。

その他

・国民スポーツ大会と全国障害者スポーツ大会を一体的に進めていくのであれば、両大会を合わせた一つの愛称にできないか。

※上記意見等を踏まえ、8月下旬の募集要項の策定に向けて、「全国障害者スポーツ大会」の略称表記を検討、決定する。

(3) 選定方法等

- 応募のあった愛称・スローガンを審査し、選定案を作成するため、専門委員会設置規程第5条第1項に基づき、広報・県民運動専門委員会に「愛称・スローガン選定部会」(広報・県民運動専門委員会委員および有識者、併せて5～6名程度で構成)を設置する。
- 愛称・スローガン選定部会で検討した選定案をもとに広報・県民運動専門委員会で最終候補作品5点程度を選定し、その後、県内外からの投票を経て、最優秀作品1点、優秀作品3点程度を決定し、総会・常任委員会で報告する。
- 選定された最優秀作品等の応募者に賞状と副賞(賞金)を授与する。

(4) 県民による参画

- 子ども・若者の参画
 - ・小・中・高および特別支援学校の児童および生徒への積極的な応募、投票の依頼
 - ・子ども・若者参画特別委員会の委員や国スポ・全スポフレンド、子ども県議会議員への応募、投票の依頼や案内の送付
- 広く県民への周知
 - ・県・市町の広報誌やチラシ、ポスター、インターネットなどを活用して、応募、投票の周知
 - ・県内で開催されるイベントでの周知および応募・投票受付ブースの設置

3. 制定スケジュール(予定)

期 日	
2018. 8月下旬	募集要項・審査要領等の審議【広報・県民運動専門委員会】
10月上旬	愛称・スローガンの募集(募集期間50日程度)
	愛称・スローガン選定部会で応募作品の審査、選定
2019. 2月	最終候補作品(5点程度)を選定【広報・県民運動専門委員会】
	最終候補作品による一般投票
3月	最優秀作品等決定【広報・県民運動専門委員会】

先催県における大会愛称・スローガンの制定状況

開催県	平成30年(2018年) 福井県	平成31年(2019年) 茨城県	2020年 鹿児島県	2021年 三重県	2022年 栃木県	
方法	公募	公募	公募	公募	公募	
募集期間	H24.4.27～6.29(6年前)	H25.9.2～10.31(6年前)	H26.12.22～H27.2.23(6年前)	H27.4.18～5.29(6年前)	H28.8.17～9.30(6年前)	
決定日	H24.11.13(6年前)	H26.1.30(5年前)	H27.5.27(5年前)	H27.7.17(6年前)	H29.2.13(5年前)	
賞金(品)等	最優秀賞 1点 10万円 県産品 優秀賞 2点 2万円 県産品	最優秀賞 1点 5万円 優秀賞 3点 1万円	最優秀賞 1点 5万円 記念品 優秀賞 3点 1万円 記念品	最優秀賞 1点 5万円 優秀賞 3点 1万円	最優秀賞 1点 5万円 優秀賞 3点 1万円	
愛称	作品	福井しあわせ元気国体2018 福井しあわせ元気大会2018	いきいき茨城ゆめ国体2019 いきいき茨城ゆめ大会2019	燃ゆる感動 かがし国体 燃ゆる感動 かがし大会	三重とこわか国体 三重とこわか大会	いちご一会とちぎ国体
	応募総数	7,441点	13,008点	13,495点	14,771点	23,851点
	趣旨等	幸福度日本一といわれる福井県で、県民の元気と創意を結集し、しあわせを感じ、元気があふれる国体・大会を創り上げます。県民みんなで全国からの参加者を温もりの心でもてなし、交流を通じて、しあわせと元気を全国に発信します。	選手やボランティアをはじめ、国体・大会に参加するすべての人々が、活気に満ちた、いきいきと活躍できる夢のあるスポーツのスポーツの祭典を創り上げていきます。	世界有数の活火山である桜島や明治維新を成し遂げた偉人に象徴される厚く情熱的な鹿児島。熱く、燃えるような感動を呼び起こす国体を目指します。	「とこわか(常若)」とは、「いつも若々しいこと。いつまでも若いさま。」を表現した言葉で、県民や来訪者が活力に満ち、元気になるようにとの願いを込めています。	「いちご」の生産量48年連続日本一の栃木県。「いちご国体」で行われる国体に参加するすべての人々が、県民の心のもった様々なおもてなしに出会い交流を深めることで新たな夢や感動が生まれることを目指します。
スローガン	作品	織りなそう 力と技と美しさ	翔べ 羽ばたけ そして未来へ	熱い鼓動 風は南から	ときめいて人 かがやいて未来	夢を感動へ。 感動を未来へ。
	応募総数	7,373点	12,101点	12,820点	14,034点	23,995点
	趣旨等	選手は持てる力と技と美しさを、福井県が誇る織物のようにタテ糸とヨコ糸に織りなし、競技に全力を尽くします。県民一人ひとり「する」「みる」「支える」のそれぞれの立場で国体・大会に主体的に参画します。これにより相互につながりを深め、みんなで感動を共有できる国体にしよう、という想いを込めています。	国体・大会に様々な形で参加することによって飛躍し、そして未来に向けて大きく羽ばたいていける大会であるように、という想いを込めています。	熱戦を繰り広げるアスリート達の熱い鼓動と会場に響きわたる歓声が、鹿児島から南の風に乗って全国に広がってほしいという思いが込められています。	大会がきっかけとなって全ての人々が夢と感動、喜びと感謝を味わい、大会後も元気であり続けていこう未来になるようにとの願いを込めています。	アスリート達が夢に向かって突き進む姿は、大会に参加する全ての人に感動を与えます。その感動をレガシーとして、未来の人づくり、地域づくりにつなげていきたいという願いが込められています。